

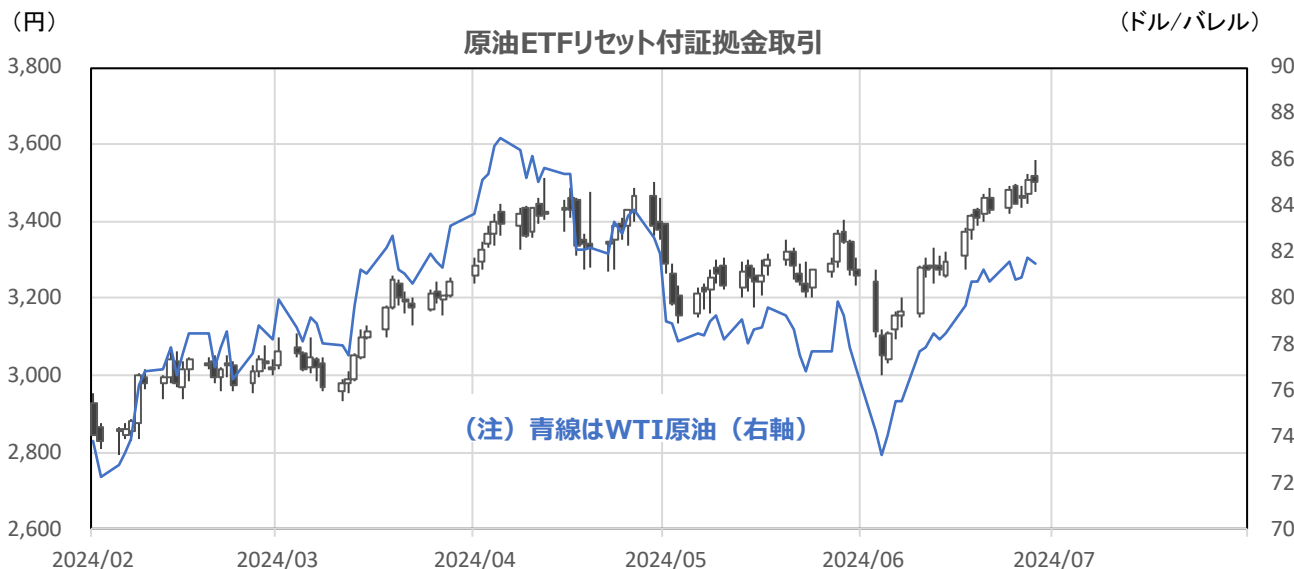
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/07/01号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

2カ月ぶりの高値を更新

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半で底固く推移した。引き続き7～9月期の需給ひっ迫見通しが強く、押し目買い優勢の地合が維持された。米原油在庫は予想外の増加報告になったが、原油相場を売り込むような動きは限定された。一方、中東ではイスラエルとヒズボラとの間で緊張感が高まっており、地政学リスクの織り込みも下値をサポートした。大きな値動きには発展しなかったが、80ドル台定着が進んでおり、約2カ月ぶりの高値を更新した。

イスラエルはガザ地区最南部ラファでの地上作戦を進め、対ハマス戦闘の終結が見え始めている。しかし、イスラエル軍は部隊をレバノン国境付近に移動させており、レバノン武装組織ヒズボラとの交戦が本格化し始めていることが警戒されている。直ちに原油供給に何等かの影響が生じている訳ではないが、中東情勢が一段と不安定化するリスクも原油相場を下支えした。久しぶりに地政学リスクも原油相場の売買テーマとして浮上している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月21日時点）は、原油が前週359万バレル増、ガソリンが265万バレル増、石油精製品が38万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

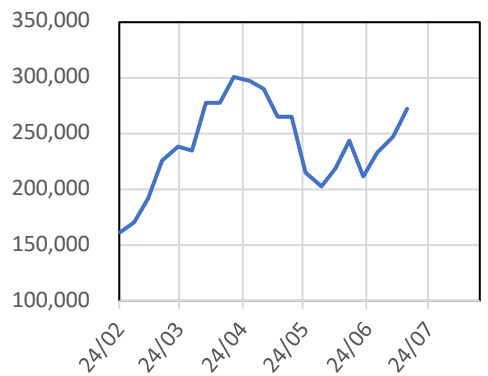
在庫減少観測と地政学リスクでじり高、景気リスクには要注意も

需給引き締め観測の下値サポートが維持されている。世界経済は減速傾向を強めているが、季節的な需要拡大圧力に対する期待感が強い。供給サイドに大きな変化が見られないのであれば、需給バランスの引き締めから在庫取り崩しが進むとの見方が維持されている。新規売買材料が乏しいために値動きは鈍化しやすいが、実際に米原油在庫の取り崩しが報告されると買い安心感が強まろう。80～85ドルのレンジ内で、緩やかな上昇地合が続く可能性が高い。

一方、中東情勢に対する警戒レベルを引き上げていくことが求められる。イスラエルとヒズボラの交戦が激化しており、本格的な戦争に発展するリスクが警戒されている。イスラエルとヒズボラの間で攻撃の応酬が本格化すると、主要産油国であるイランにも危機が飛び火する可能性があるため、今後の展開に注意が求められる。原油供給障害に直結する動きではないため、直ちに原油相場を大きく押し上げる要因にはならない見通しだが、イランも巻き込まれるリスクが高まると、3～4月にかけての急伸地合再開も意識されやすくなる。紅海ではフーシ派の船舶攻撃が活発化する兆候も見受けられる。

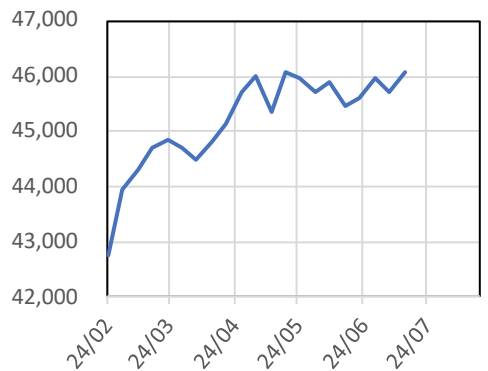
下落リスクとして注意が必要なのは、世界経済の動向になる。月初とあって米中など主要国の経済指標発表が集中する。非鉄金属相場などは需要不安を織り込む動きを続けており、原油市場でも需要不安の織り込みを迫られるような事態になると、80ドル割れが打診されるリスクがある。また、フランス議会選挙が6月30日と7月7日に行われるため、欧州政治リスクがリスクオフ化を促した際にも、原油相場の上値は圧迫されるリスクがある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



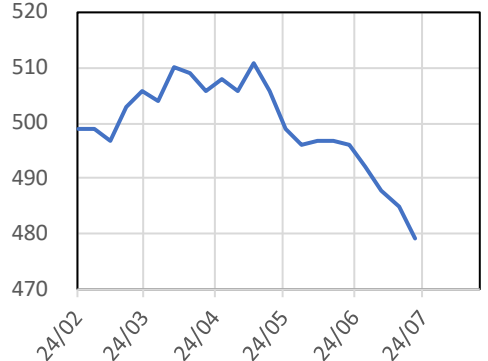
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

